

(様式3)

事業所名 グループホームエフビー御嶽堂

## 目標達成計画

作成日: 令和 4年 12月 14日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	(事業所と地域との付き合い) 新型コロナウイルスの感染拡大、収束の見えない中、地域密着型施設としての役割ができない状況である。地域との付き合いを活性化するためにはどうしたらいいかが問題点である。	地域住民の方々と交流を行い、地域密着型施設としての役割を果たしたい。	①地域でのごみ拾い、草刈りに参加し職員と地域住民とコミュニケーションをとる。 ②地区で行われている文化祭に参加(展示)して利用者様との関りを持つ。(コロナが落ち着けば見学に行きたい)	12ヶ月
2	19	(本人を共に支えあう家族との関係 ) 新型コロナの感染状況により、自由な面会や外出が困難な状況が続いている。	一人一人の利用者様のご家族の状態に合わせて柔軟に面会出来るよう工夫していく。	①ご家族様に面会する(したい)日を確認してタブレット面会もしくはガラス越し面会をしていただく。 ②ブログを定期的に更新しているのでご家族様に紹介し見ていただく。 ③グループホーム御嶽堂新聞を(4回/年)発行し活動状況をお知らせする。	12ヶ月
3	38	(その人らしい暮らし) 一人一人の思いや暮らし方の希望、意向について把握してどのように手助けしたらよりよい生活ができるかが課題である。	その人らしい暮らしの実現に向けて、利用者様一人ひとりの状況や認知症の進行度を見ながら関わり、生きがいある生活を実現していきたい。	①利用者様一人ひとりのアセスメントを行い、どんなことに興味がありどんなことがやりたいか明確にする。具体的には調理、手芸、一緒に歌を歌う、体を使ったレクリエーションなど行っていく。(ケアマネ、職員が話し合い実現していく)	12ヶ月
4	35	(災害対策) 河川に近く、山崩れや土砂災害の危険性もある立地であるため、ライフラインが滞った場合に備蓄が必要である。	万が一に備え、水、カセットコンロ、3日分の食糧の確保(備蓄)を行い、ライフラインが滞った際に対処できるようにしたい。	①水、カセットコンロ、3日分の食糧の確保(備蓄)を行う。	3ヶ月
5					ヶ月